

94/140 67%

No	評価項目	とても 思う	やや 思う	やや思 わない	全く思わ ない
		◎	○	▲	×
1	学校は、教育方針や教育活動及び必要な情報をわかりやすく伝えている。	56	35	2	0
2	一人ひとりに必要な授業が分かりやすく行われている。(教材教具の工夫、指導法の工夫等)	61	29	1	1
3	本人・保護者のニーズや願いを取り入れた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成している。	64	26	1	0
4	学校は、教育相談等を充実させ、幼児児童生徒に関する健康・教育相談、支援等について積極的に家庭と連携を図っている。	60	32	0	1
5	先生は、幼児児童生徒をよく理解し、指導にあたっている。	72	19	2	0
6	幼児児童生徒は、喜んで学校に行っている。	61	24	7	0
7	学校は、望ましい進路選択のための情報を提供し、保護者と連携をしながら進路指導を行っている。	47	34	6	0
8	学校は、いじめや体罰を根絶し、幼児児童生徒の人権を尊重し大切にしている。	60	26	1	1
9	学校は、幼児児童生徒に関する個人情報の管理を十分に行っている。	71	19	0	0
10	学校は、幼児児童生徒の学習の様子等について、保護者と面談する期間を適切に設け説明している。	61	27	3	1
11	学校は、幼児児童生徒の健康・安全や事故防止を行っている。	71	21	1	0
12	令和3年度のPTA活動は、コロナ対策で自粛し、資料の提供などで周知に努めている。	67	25	0	0
13	保護者等から寄せられた意見を、学校運営及び教育活動の改善に活かしている。	47	37	1	2
14	学校は、新型コロナウイルス感染症対策(消毒、マスク着用、手洗い指導、メンタルケアなどの衛生管理)に取り組んでいる。	65	27	0	0
15	学校は、新型コロナウイルス感染症対策(オンライン授業、学校休業中の課題配付など、学びの提供)に取り組んでいる。	57	32	3	1

<各項目の分析>

- ・保護者の学校への評価は、概ね良好と思われる。特にNo.9、12、14の項目(個人情報の管理、PTA活動の資料提供、感染症対策)は、回答者全員から高評価が得られた。
- ・少数でも、やや思わない(▲)、全く思わない(×)があった項目について以下に分析を行った。
- ・No.2、3、5、6については、コロナ禍のため授業参観ができなかったことが、大きく関わっていると思われる。新入生、転入生保護者の不安感を払拭していくためにも、感染症対策を行いながら授業参観を行っていく必要がある。
- ・No.1、4、7、10、13については、授業参観やPTA活動等がコロナ禍でできなかったため、情報提供が少ないと感じていると思われる。このような状況下で、どのように学校の様子を伝えていくかは、今後も継続して考えていく必要がある。
- ・No.8、11については、少数ではあっても重要な指摘と感じている。真摯に受け止め、再度、事故防止や人権尊重の取り組みを図っていく。
- ・No.15については、コロナ禍での学習保障(オンライン授業、課題提供等)への不安や、上手く繋がれなかった等の不満があると思われる。マチコミメールや、Teamsを含め、今後も手続きのサポートを行っていく必要がある。

52/87 60%

No	評価項目	とても思う ◎	やや思う ○	やや思わない ▲	全く思わない ×
1	学校は、教育方針や教育活動及び必要な情報をわかりやすく伝えている。	20	29	2	1
2	一人ひとりに必要な授業がわかりやすく行われている。(教材教具の工夫、指導法の工夫等)	23	25	1	1
3	本人・保護者のニーズや願いを取り入れた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成している。	25	24	2	0
4	学校は、教育相談等を充実させ、幼児児童生徒に関する健康・教育相談、支援等について積極的に家庭と連携を図っている。	22	25	4	1
5	先生は、幼児児童生徒をよく理解し、指導にあたっている。	26	21	3	1
6	幼児児童生徒は、喜んで学校に行っている。	33	14	4	1
7	学校は、望ましい進路選択のための情報を提供し、保護者と連携をしながら進路指導を行っている。	21	23	3	2
8	学校は、いじめや体罰を根絶し、幼児児童生徒の人権を尊重し大切にしている。	25	22	0	2
9	学校は、幼児児童生徒に関する個人情報の管理を十分に行っている。	31	19	1	0
10	学校は、幼児児童生徒の学習の様子等について、保護者と面談する期間を適切に設け説明している。	22	27	3	0
11	学校は、幼児児童生徒の健康・安全や事故防止を行っている。	25	25	0	1
12	令和3年度のPTA活動は、コロナ対策で自粛し、資料の提供などで周知に努めている。	30	18	2	0
13	保護者等から寄せられた意見を、学校運営及び教育活動の改善に活かしている。	21	22	3	1
14	学校は、新型コロナウイルス感染症対策(消毒、マスク着用、手洗い指導、メンタルケアなどの衛生管理)に取り組んでいる。	26	23	0	1
15	学校は、新型コロナウイルス感染症対策(オンライン授業、学校休業中の課題配付など、学びの提供)に取り組んでいる。	24	20	6	1

<各項目結果の分析>

・一部を除き、保護者の学校への評価は概ね良好だと思われます(→回答数に占める◎○の割合より)。特に、過密化による交通渋滞・事故・安全対策、感染対策、個人情報管理(→…項目(9)(11)(14))は、本校が近年最重要課題の一つとして様々な策を講じてきた。油断することなく取り組んでいきたい。

・一部、▲や×の項目があり、真摯に受け止める必要があり、以下に考察、分析する。

【連絡・周知体制、ネット環境関連…(1)(12)(15)】

・緊急の連絡や公文でなく連絡帳やマチコミメール等を通じて流す場合があるが、マチコミの未登録の方やネット環境が整備されていない家庭の場合、担任からの連絡など継続して解決策を講じていきたい。また、昨年から続く「コロナ感染」により、授業はもちろん様々な集会や行事、会議等に影響が出た(中止、延期、規模や内容の縮小、オンライン、リモート、オンデマンド対応等)。これらに対応すべく、ICT研修等で研鑽に努めていきたい。

【生徒・保護者理解、連携関係…(2)(3)(4)(5)(6)(7)(10)(13)】

・保護者・教師間のコミュニケーション不足が原因と思われるが、特に教師側には、生徒の実態把握、指導方法も含めた専門性の向上、保護者各位のニーズ等に対し真摯に向き合い、保護者各位へ積極的にアプローチし相談していく姿勢が求められる。全職員が謙虚に振り返り、改善点を整理し善処していきたい。今後も気付いたことがあればいつでも担任や学年主任、教育相談係、部主事、管理者等に相談してほしい。コミュニケーションを深める(話し合う)チャンスと捉え生徒理解・対応に活かしていきたい。

【いじめ・体罰・人権関連…(8)】

・2名の保護者が×と回答したのを重く受け止める。「いじめ」に関しては日々の観察はもちろん、アンケート等も毎年行っており、懸念される回答には聞き取りや面談等を行い、保護者各位にも相談の上、対応、解決してきている。今後も、いじめ・体罰・人権に関して気になる点があれば、遠慮なく相談してほしい。

72/155 46%

No	評価項目	とても 思う ◎	やや 思う ○	やや思 わない ▲	全く思わ ない ×
1	学校は、教育方針や教育活動及び必要な情報をわかりやすく伝えている。	38	31	2	1
2	一人ひとりに必要な授業が分かりやすく行われている。(教材教具の工夫、指導法の工夫等)	37	29	3	2
3	本人・保護者のニーズや願いを取り入れた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成している。	49	18	4	1
4	学校は、教育相談等を充実させ、幼児児童生徒に関する健康・教育相談、支援等について積極的に家庭と連携を図っている。	45	24	2	1
5	先生は、幼児児童生徒をよく理解し、指導にあたっている。	45	21	4	1
6	幼児児童生徒は、喜んで学校に行っている。	45	17	7	2
7	学校は、望ましい進路選択のための情報を提供し、保護者と連携をしながら進路指導を行っている。	45	21	5	1
8	学校は、いじめや体罰を根絶し、幼児児童生徒の人権を尊重し大切にしている。	42	24	3	1
9	学校は、幼児児童生徒に関する個人情報の管理を十分に行っている。	48	22	1	1
10	学校は、幼児児童生徒の学習の様子等について、保護者と面談する期間を適切に設け説明している。	43	26	2	1
11	学校は、幼児児童生徒の健康・安全や事故防止を行っている。	48	22	1	0
12	令和3年度のPTA活動は、コロナ対策で自粛し、資料の提供などで周知に努めている。	41	26	3	1
13	保護者等から寄せられた意見を、学校運営及び教育活動の改善に活かしている。	39	24	4	2
14	学校は、新型コロナウイルス感染症対策(消毒、マスク着用、手洗い指導、メンタルケアなどの衛生管理)に取り組んでいる。	50	20	2	0
15	学校は、新型コロナウイルス感染症対策(オンライン授業、学校休業中の課題配付など、学びの提供)に取り組んでいる。	40	22	9	1

<各項目の分析>

各項目に関する「とても思う(◎)、やや思う(○)」評価の割合

95%以上…No.1, 4, 8, 9, 10, 11, 12, 14

90%以上…No.2, 3, 5, 7, 13

90%以下…No.6「生徒は喜んで学校に行く」(87%)、No.15「休校時の学びの保証」(86%)であった。

上記のことから保護者の評価は、概ね良好と考える。しかしNo.6, 15の2項目は、保護者の意見の中でも上がっており、しっかり生徒、保護者がニーズに答えていく必要がある。

▲の比率6~7%との少し高い項目は、高等部の課題と考える項目となっていると分析する。

また、No.8の「いじめ」や「体罰」などの人権に関する事項に×(1名)、▲(3名)の回答があった。非常に重く受け止め、改善に向けた対策を早急に行う必要がある。

【課題解決に向けて】

○No.2, 3, 5, 6, 15(学びの保障に関すること、生徒の実態把握に関すること、専門性向上に関すること)

→休校時の宿題などに関して、リモート授業、オンデマンド、オンラインなどのICT技術の向上を図る。各教科、各学習グループとの宿題量の調整を行う。

→障害児教育に関する専門性に対して教師一人一人が自己研鑽を図り、指導力の向上を図る必要がある。学部においても研修や情報提供などを行っていきたい。

○No.7, 13(保護者との連携、保護者の意見の反映)

→こまめに保護者と適切なコミュニケーションを図る必要がある。

→保護者からの意見や提案を真摯に受け止め対応し、協力体制の構築を図る。

○No.8(いじめ、体罰などの人権に関すること)

→学級や生徒指導部を中心に、日々の観察、アンケートの実施などを行い、いじめの芽になりそうな「ふざけあい」や「冷やかしの段階を見逃さず対応し・解決に取り組んでいるが、「いじめ」は、隠れていて見えにくい特徴があるため、すべてを把握しているわけではないと考える。今後も日々の観察、言葉かけ、アンケートの実施を継続しつつ、保護者との情報共有、連携を密にしながら迅速に解決に取り組んでいきたい。また、体罰・人権意識に関しては、個々の生徒を深く理解するとともに、互いに尊重し合う人間関係を育て、職員一人一人が人権意識向上を図っていく。

